

「ブラジル国強靱な街作りのための 土砂災害構造物対策能力向上プロジェクト」に STCが参画します！

2021年2月に国際協力機構（JICA）から公示された、ブラジル国における標記プロジェクトに対し、一般財団法人砂防・地すべり技術センター（STC）は、八千代エンジニアリング株式会社を代表とし、株式会社建設技研インターナショナル及びSTCを構成員とする3者で共同企業体を組んで応募しました。その後、4月にSTCを含む共同企業体の提案が特定され、本プロジェクトを受注・実施することとなりました。

本プロジェクトは5月から始動しており、5年間にわたり実施されます。STCを含む共同企業体は、ブラジル国で過去に実施されたJICA技術協力プロジェクト「統合自然災害リスク管理国家戦略強化プロジェクト」やJICA民間技術促進事業「鋼製透過型・ソイルセメント砂防堰堤普及促進事業」の実績があります。これらの成果を活用しながら、パイロットプロジェクトによる不透過型砂防構造物、透過型砂防構造物の設置を通して、土石流対策構造物の設計、施工管理、維持管理等に関する技術指針等の作成と、同国で土砂災害防止を担う地域開発省を中心とした関係者への普及の支援を行い、関係者の能力向上を目指すものです。

本プロジェクトの実施状況は、引き続き進捗に合わせて報告させていただきます。



ブラジル国カウンターパートとの協議



現場の視察確認

（共に民間技術促進事業「鋼製透過型・ソイルセメント砂防堰堤普及促進事業」より）